

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書の記入のしかた

(1) 事業の概要	事業の概要は、事業の主たる内容を記入する。 <例> ゴミ焼却場
(2) 貯蔵する危険物の概要	貯蔵する危険物の引火点及び貯蔵温度を記入する。なお、特異な化学物質などの場合は、危険物の性状試験結果書を添付してください。
(3) 基礎、据付方法の概要	タンクの基礎及び固定方法等の概要を記入する。 <例> 鉄筋コンクリート基礎、アスファルトサンド充てん(厚さ50mm)、アンカーボルト(M16×8本)
(4) タンクの構造、設備	各項目の欄に該当する事項を記入する。 <例> 形状:「角型」、「縦置き円筒型」 加圧:最大常用圧力、減圧の場合は(-)を付ける。 寸法:タンクの内寸 角型:縦、横、高さ、円筒型:直径、高さ 異形方:最大幅等特徴的な部分の長さ 材質板厚:各部分の材質記号及び板厚 容量:中仕切り(分割)タンクは、最大貯蔵容量のほか、()書きで分割容量を記入する。
(5) 注入口の位置	タンクの注入口の位置
(6) 防油堤	構造、防油堤容量及び排水設備の概要を記入する。 <例> 構造:土盛り堤、鉄筋コンクリート等
(7) 各設備の欄	ポンプ設備の概要:種別、設置台数、能力等 避雷設備:種別、設置台数等 配管:種類、径、材質、防食方法等 消火設備:種別、形式、設置数、能力単位数等 タンク加熱設備:種別、設置台数等
(8) 工事請負者住所・氏名	当該工事を行う者の住所、氏名及び電話番号を記入する。

様式第4の八

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要	(1)				
貯蔵する危険物の概要	引火点	(2)	貯蔵温度		
基礎、据付方法の概要	(3)				
タ ン ク の 構 造 、 設 備	形状	(4)	常圧・加圧(kPa)		
	寸法		容量		
	材質、板厚				
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
				mm kPa	
	安全装置	種別	数	作動圧	
				kPa	
液量表示装置		引火防止装置	有・無		
不活性気体の封入設備		タンクの保温材の概要			
注入口の位置	(5)	注入口附近の接地電極	有・無		
防油堤	構造		容量	排水設備	
	(6)				
ポンプ設備の概要	(7)				
避雷設備					
配管					
消火設備		タンクの加熱設備			
工事請負者住所氏名	(8)	電話			

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。